

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
分子病理学

【研究課題名】 原発性肺癌の新規治療標的分子の同定とメカニズムの解析

【研究期間】 倫理委員会承認後 ～ 2021年03月31日

【研究の意義・目的】

現在、肺腺癌に対する有効な分子標的薬としてEGFR tyrosine kinase inhibitor (TKI) 及びEML4-ALK TKIが開発され、その有用性が証明されている。しかしながら、EGFR遺伝子変異やEML4-ALK融合遺伝子変異を認めない肺腺癌に対する有効な分子標的薬はない。

本研究では、EGFR・ALK陰性など分子標的薬の開発されていない肺癌のリン酸化プロテオーム解析を行い、新規治療標的分子を同定することを目的とする。同定した分子の妥当性を臨床病理学的検討により評価し、そのメカニズムを解明することでEGFR・ALK陰性など分子標的薬の開発されていない肺癌に対する有効な新規治療薬の開発が期待される。

【研究の方法】

当大学医学部附属病院呼吸器外科で保存されている、手術により摘出された肺癌患者の癌部および非癌部の既存凍結検体を医薬基盤研究に委託しリン酸化プロテオーム解析を行う。同定した治療候補分子の妥当性について免疫染色による臨床病理学的検討を行う。メカニズムの解析についてはATCC (American Type Collection Culture) より肺癌細胞株を購入し *in vitro*, *in vivo* の実験を行う。

【研究組織】

研究責任者 分子病理学 鰐淵英機

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 鰐淵英機

住所 〒545-8585 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-4-3 医学研究科 分子病理学

電話 06-6645-3737

FAX 06-6646-3093

E-mail pathology@med.osaka-cu.ac.jp